

# 令和5年度全国学力・学習状況調査結果【新木小学校】



## 国語

○平均正答率(県67%、全国67.2%)を比べると、本校はやや下回っている。

### (1) 調査結果の詳細

#### <複数の資料を読み取る問題>

- ・資料をもとにして自分の考えを書くなどの記述式問題では、複数の条件に合わせて書くことを求められると、正答率が大きく下がっていた。また、無解答の児童が多くなる傾向があった。
- ・1つの条件文の中に、2つの条件が入っているとどちらか片方のみを満たす記述になってしまうことが多かった。
- ・文章の特徴、要旨を選択肢から選ぶ問題は、高い正答率だった。
- ・1つの選択肢の中に、文章の内容について正しい記述が少しでも含まれていると、誤答してしまう傾向がある。

#### <言葉の問題>

- ・「意外」「期間」の漢字書き取り問題、「くらべて(比べて)」の送り仮名問題の正答率が低かった。また、無解答の割合が県・全国よりも約2倍多かった。
- ・敬語の正しい使い方についての正答率が低かった。○「もう一度“うかがって”いいですか」×「もう一度“お聞きになって”いいですか」という誤答が多かった。

### (2) 今後の取り組み

- ・問題の傾向として「複数の資料(文章、絵、グラフ)をもとにして、読み取るもの」が多いため、国語に限らず様々な教科で日常の学習から意図的に取り組ませる必要がある。
- ・文を書くことへの抵抗感を減らすために、あらきっ子タイム(15分間学習)を活用し、テーマや記述の条件をつけた短文を書く活動を取り組ませる。
- ・記述式問題に慣れていくために、文章を読み取るだけではなく、「自分の考え」と「その根拠」を書く活動や条件に合わせて書く活動を日々の学習の中で行う。
- ・漢字小テストなどを定期的に行い、漢字の読み書きの定着を図る。
- ・日常的に教師自身が正しい敬語の使い方でお話し、児童自身もできる限り使用させる。

○平均正答率(県62%、全国62.5%)を比べると、本校はやや下回っている。

## (1) 調査結果の詳細

### <複数の資料をもとに考え進める問題>

- ・わり算の筆算や図形の定義など、その考え方の過程を問う出題が多い。選択肢から選ぶ問題については、正答率がよいが、記述式となると正答率が低く、無解答が多くなっていた。
- ・資料の中に様々な情報があり、その中に不必要な情報が含まれていると、それにひっかり誤答してしまうことが多い。注目すべき情報がわかっていない児童が多い。
- ・表を正しく読み取り、解答する問題の正答率が低かった。

### <求め方を式や言葉を使って書く問題>

- ・正しく説明、立式ができて、計算の過程で間違えてしまい、誤答する割合が多い。また、記述ができず無解答の割合も多い。

### <単純な計算問題>

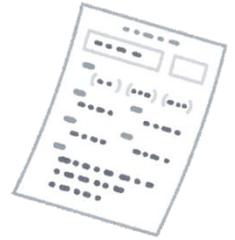
- ・ $50 \times 40 = 200$ と誤答した割合が県・全国に比べて、とても多い。
- ・ $(151 + 49) \times 3$ の正答率は高かったが、 $151 \times 3 + 49 \times 3$ の正答率が低かった。

## (2) 今後の取り組み

- ・問題の傾向として「複数の資料(文章、絵、図表、グラフ)をもとにして、読み取るもの」が多いため、日常の学習から意図的に取り組ませる必要がある。
- ・考え方の過程を問う出題が多いため、日々の授業で公式や正解だけを教えるのではなく、「なぜそうなるのか」を大切に教えていく。
- ・自分の考えを言葉や式、図などで説明する活動を取り入れる。
- ・単純計算を間違えてしまう児童が多いため、あらかっ子タイム(15分間学習)を活用し、繰り返し計算問題に取り組ませる。

## 児童アンケート

児童のアンケートから、特徴的であった質問と回答をまとめましたので、参考にしていただけたらと思います。



**【質問1】 将来の夢や目標をもっていますか。**

**【特徴】**「当てはまる」と回答した割合が最も多い。しかし、県・全国と比べると「どちらかという、当てはまらない」「当てはまらない」と否定的に回答した割合が多い。

**【質問2】 自分にはよいところがあると思いますか。**

**【特徴】** 県・全国平均に比べて、肯定的に回答している子が多い。

**【質問3】 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。**

(学校の授業の予習や復習を含む)

**【特徴】** 県・全国と比べると、肯定的に回答した割合は同程度である。しかし、「全くしていない」と回答した割合が約2倍だった。

**【質問4】 学校の授業以外に、平日1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。**

(学習塾や家庭教師等も含む)

**【特徴】** 最も多かった回答が「30分以上1時間より少ない」であった。また、「全くしない」と回答した割合が県・全国に比べ、約2倍だった。県・全国では、「1時間以上2時間より少ない」が最も多かった。

**【質問5】 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか。**

(インターネットを通じて教わっている場合も含む)

**【特徴】** 県・全国と比べると、「教わっていない」と回答した割合は同程度であった。また、「学校の勉強より進んだ内容や難しい内容を教わっている」と回答した割合は、少し上回っていた。

**【質問6】 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PCやタブレットなどのICT機器を勉強のために使っていますか。**

**【特徴】** 「全く使っていない」と回答した割合が、県・全国と比べて約2倍だった。